

## 7月定例教育委員会議事録

- 1 日 時 平成25年7月23日(火) 午前9時30分から10時40分
- 2 場 所 宗像市役所本館3階・301会議室
- 3 出席委員 委員長 井上裕之  
委員 中岡政剛  
委員 川上美子  
委員 平田良枝  
教育長 久芳昭文
- 4 その他の出席者 教育部長高橋勇次、子ども部長柴田祐治、教育部理事後藤正弘、教育政策課長岡田光晴、教育政策課指導主事羽田野崇、教育政策課指導主事西島潔、教育政策課指導主事正路澄代、学校管理課長占部晃、子ども育成課長中野万由美、子ども育成課社会教育主事久保謙司、図書課長長谷川慎、文化・スポーツ推進課長磯部輝美、郷土文化交流課長清水比呂之、コミュニティ・協働推進課長古川博章、コミュニティ・協働推進課参事村上治彦、教育政策課政策係長許斐知加、教育政策課企画主査山本幸江、教育政策課教育連携コーディネーター田中雅子  
※傍聴 なし

※傍聴 なし

- 5 前回(6/19定例)議事録の承認(資料1)《承認》

### 6 報告事項

#### ① 行政報告(資料2)

【久芳教育長】 6月19日以降の主だった行政報告をさせていただきます。7月4日、皇太子殿下の行啓がございまして、委員長たちと奉迎いたしました。宗像市役所、宗像大社に行かれて、海の道むなかた館を視察されております。その際に、南郷小学校6年生の体験活動を見ていただき、皇太子殿下から親しく声をかけられ、子どもたちにとって素晴らしい経験ができたのではないかなと思います。7月10日は県議会の文教常任委員会の管内視察がありました。今回は、宗像市の学校視察ということで、文教常任委員9人の方がお見えになり、河東西小学校をご案内いたしました。当日は、谷井市長も挨拶に来られ、宗像市の学校教育に対する意気込みを語っていただきました。授業は、昨年度から導入いたしました電子黒板を中心に、ICTを活用した教育の実際を見ていただき、文教委員の方々からは、このような授業を見るのは初めてということで、様々なご質問をいただきましたので、かなりインパクトがあったのではないかと思っています。それから、7月12日に臨時校長会を開催させていただきました。案件は、福岡県職員の給与減額を定めた条例が施行されますので、県費負担教職員である先生方に、校長先生から減額の趣旨と内容等について丁寧に説明をしていただきたいという県からの要請に基づいて、お願いをしたものでございます。併せて、7月10日の粕屋町で発生しました、児童32人の熱中症による事件を受けまして、改めて熱中症予防の注意喚起をいたしております。これについては、当日行われた管内教育長会議で、粕屋町から事件の概要報告がございました。10人以上の発症ですと、災害対応になるとのことで、学校側もなかなか情報を得るのが難しく、マスコミから情報を得た事態になったということも、ご報告がありました。また、今回の熱中

症の大きな原因を専門家の方々から聞いたところ、いわゆる児童の暑さに対する耐性が、十分に無かったというお話でした。学校側としては、早朝の社会見学ということで、暑さ対策は万全を期していたけれども、子どもたちの体力が十分ではなかったというような反省の弁でございました。7月20日は、玄海小学校旧校舎のお別れ会がございました。児童、保護者、地域の方々、教員のOBの参加のもと、50年の歴史に幕を閉じる節目の行事でございました。主な報告は以上です。

② 後援報告（資料3）資料参照、議事録なし。

③ 平成25年度宗像市教育評価委員会の評価対象事業（平成24年度事業分）について（資料4・当日差替）

【教育政策課長】 本日、訂正の資料をお配りしております。今回の対象事業は、平成24年度の実施事業になります。表についてですが、左から事務事業名、所管課、事業内容としております。今年度は、ここに示す10事業を評価していただくこととなります。4番目の小中一貫教育推進事業と、小中一貫教育支援教員配置事業ですが、これについては、同じ事業内容ですので、まとめて評価をしていただきます。ですから、10事業としておりますが、基本的には、11事業の評価ということになります。法的に実施しなければならない事業、学校施設の改修などのハード事業や、廃止予定の事業等を除きまして、今年度の評価で事務事業を一通り終えるというかたちになります。その他議事録なし（▲1分20秒）

【井上委員長】 24年度実施の10事業の評価が終われば、すべての事業評価が終わったということですね。

【中岡委員】 9の大島マラソン大会事業名称の変更があったのはわかるのですが、事業内容で、修正資料では、マラソン大会の開催のみ記載で、修正前は市の陸上競技協会、それから、コミュニティ運営協議会等の実行委員会形式で実施されていたと記載がありますが、中身も変わっているのでしょうか。

【文化・スポーツ推進課長】 中身は、実行委員会を作って行ったということで変更ありません。

【井上委員長】 大島マラソン大会は、大島ハーフマラソンのことでしょうか。

【文化・スポーツ推進課長】 去年は市の主催で、大島マラソンとして復活しまして、今年は、ハーフマラソンに格上げして、市制10周年に合わせて行うことにしています。

④ 10周年記念事業の進捗について（資料5及び当日配付）

【文化・スポーツ推進課長】 本日から解禁で、号外をお配りしています。平原綾香出演が決定いたしております。クラシックファンだけではなく、子どもから高齢者の方まで大幅な参加が期待できるのではないかと思います。交通整理部会、会場係、プロ公演部会、アマ公演部会、アウトリーチ部会など、8部会作りまして、それぞれが部会を開催しています。部会の代表者は、実行委員会で全体的な打ち合わせを2回、それに個別の部会が、開催されております。この他にも、市内吹奏楽部の中学高校生400人くらいが、市の式典、市長の挨拶前に出演する企画があります。子どもたちも、5,000人以上の観客の前で演奏する機会というのは、そうはございませんので、相当張り切っているのではないかと思います。また、市長挨拶終了後はコーラスがあります。合唱団、市民コーラスの皆さんに今、練習や取りまとめを行っていただいております。300人前後くらい集まっただけではないかと思います。ぜひ、ご家族お揃いでご出席をいただきたいと思います。ちなみに、過去100年

間で雨が降っているのは2回程度だそうございまして、97%以上の確率で雨が降らないコンサートでございます。

次に、大島ハーフマラソンをハーフ1,050人、10キロが450人の計1,500人の定員で開催するようにしております。申し込み方法が2つございまして、ネットでの申し込みと、郵送での申し込みで、先週の金曜日の時点で、もう1,035人となり、申し込みを締め切っております。8月の中旬くらいまでを予定しておりましたので、かなり早い締め切りです。やはりハーフは人気があります。それと、10キロは、450人の定員に対しまして、今、320人です。大体、昨年の申し込みが、300人足らずでございましたので、それを上回っており、反響はそれなりにあったのだと思います。

次に、お盆明けの8月16日から2週間ほど、ユリックスで中村研一展パート2を計画いたしております。中身は、前は研一さんの幼少からの年代別の作品を追いながら見てみようという企画だったのですが、今回は、家族を通したなかで、研一さんを掘り下げるものです。お父さん、奥さんの富子さん、弟の琢二さんを通したなかで、見えてくる研一さんを展示しようという計画で、今、最終の準備をしているところでございます。

もう1点、11月10日に、市民スポーツフェスタ in 宗高と題し、宗像高校を開放して10周年事業を行うということで、今、実行委員会を立ち上げ、主に子どもたちを中心とする仕掛けを計画しています。また、一般の方がどなたでも参加できるような、ニュースポーツ大会を運動会形式でできないかと考えております。具体的には、子どもたちのプログラムは、プロスポーツ選手を呼んで、サッカー、野球、ラグビーなどのスポーツ教室を計画中です。また、指導者を対象にした研修会として、脳トレーニング、コーディネーショントレーニングというのですが、同時に2つの動きをすることで、脳に刺激を与え、運動能力を高めていこうというものを考えています。頭も良くなるそうで、これは高齢の方にも有効だということなのですが、この研修会を東京から講師を迎え開催したいと考えております。いろいろと案はまとまっておりますが、これが決定しましたら、またご報告をさせていただきますと思っています。

【久芳教育長】 10周年行事の全体像がわかる一覧表などはありませんか。

【文化・スポーツ推進課長】 後程お配りいたします。

#### ⑤ 第2回宗像市保育所・幼稚園・小学校連絡会（保育参観）の実施について（資料6）

【久保社会教育主事】 宗像市における保幼小連携は、昨年度までは、管理者の校長先生や園長先生方を対象とした保幼小連絡会を2回開催し、保育所保育要録・幼稚園指導要録の統一化、新1年生への説明会を宗像市内小学校が、すべて同じ日に行う統一入学説明会、体験入学などの実施を行い一定の成果を挙げてまいりました。さらに、保幼小の相互理解を推進し連携していくため、本年度から、管理職の先生等を対象とした保幼小連絡会を1回とし、新たに、教員同士が子どもの姿を見ながら交流できる保幼小連絡会を2回導入することにしました。この保幼小連絡会を6月21日に教員の先生向けに、恵愛保育園での保育参観として実施しましたので、報告いたします。今回の連絡会には、市内の保育所、幼稚園、小学校から36人の職員の先生方に参加いただきました。今回の連絡会の趣旨は、研究保育、研究授業、講評会といった色合いを薄め、なるべく日常の活動を見てもらい、保幼小間の共通した課題を見つけ、交流するなかで、相互理解を深めながら、連携して解決していくことの一環として行いました。参加オリエンテーション終了後、年長さんのクラスを全員で参観し、年中、年少、幼児、0歳児の各教室にも回って、保育所の日常の活動の様子を自由に参観していただきました。その

後、互いの取り組みについて、熱心に意見交換をされました。資料の左下に載せてあるように、鉛筆の持ち方について、小学校の先生から、小学校にあがってくる前に、正しく指導して欲しいという意見が挙げられた他にも、裏面にどんな意見がなされたかということも記載していますので、ご覧ください。参加者の声のところにあります。今回参加いただいた先生方のアンケート結果より、職員同士の交流が深まり、保幼小の連携のためには、今回のような保育参観の実施が必要だという意見もいただきました。また、連絡会に参加していただいた先生方には、各園、各校に戻られた際に、今回の連絡会のことをぜひ、広げてくださいますようお願いし、今日お配りしているこの資料も各保育所、幼稚園、小学校に配布しています。次回の保幼小連絡会は、1月23日木曜日の10時から、東海大学附属自由ヶ丘幼稚園で実施いたします。

【平田委員】 保幼小の連携は大事なことで、このような研修会は、お互いに状況がわかり、素晴らしいものだと思います。確認ですが、出席者の小学校の先生は、各学校から1人ということでしょうか。

【久保社会教育主事】 はい、各学校から1人です。

【井上委員長】 各学校に担当の先生がいらっしゃるということですか。

【久保社会教育主事】 担当は決めず、低学年の先生や、特別支援コーディネーターの先生で、出席が可能な先生をお願いをしています。

【川上委員】 ようやく交流ができるところまで進み、今回のこの報告書は、感慨深く拝見いたしました。実際の交流がないと、小学校1年生の段階でうまく連絡が取れず、クラス運営にも関わることもありますので、それぞれ今までずっと問題を含んでいた部分だと思います。先生同士の交流が、実際に園に出向いて行われたことは、大きな1歩だと思います。願わくば、以前あったと思うのですが、今度は幼稚園、保育所の先生が、小学校を参観する交流がさらにあれば、なお連携が進むのではないかと思いますので、次年度以降、検討していただけたらと思います。

【子ども育成課長】 川上委員が言われましたとおり、今後は小学校に、幼稚園、保育所の先生が来る連絡会も必要だと思っております。保育参観をまず定着させ、次の段階では、その方向で進めていきたいと考えております。

#### ⑥ 7月学校の日について（資料7）

【久芳教育長】 7月10日の学校の日、先程申し上げました、文教常任委員会の視察が重なり、河東西小学校では、視察された文教委員の方々から、プレゼンテーションの授業が非常に素晴らしかったとの感想をいただいておりますので、ご報告をしておきます。この後に赤間西小学校に行き参りました。ここでは、校長と語る会に保護者10人の方々が集まっておられましたので、私もそこに参加させていただきまして、いろいろな教育についてのお話をいたしました。このように校長と保護者が気さくに語り合える機会は、本当に大切だなと思いました。学校と保護者の距離が、非常に近いという印象を持ちました。また、校長室で子どもたち6人と一緒に給食をいただきました。校長先生が、子どもたちとのコミュニケーションを取るために、1学期間中、すべての子どもたちと、このような時間を作っているということでした。私も子どもたちと、しっかりと話ができて、非常に良い経験をさせてもらいました。授業では、全校で道徳の時間が組まれ、5年生のクラスでは、教材に小学校6年生の時に骨肉腫になり、中学校2年生で亡くなった猿渡瞳さんのDVD資料、それから弁論大会の作文を用いた授業が行われていたのですけれども、非常に重い内容の命の尊さを学ぶ授業で、子どもたちも真剣でした。目頭を押さえながら参観される保護者もおられ、しっかりと心の奥まで届く

ような、良い授業がございました。学校の日ではないのですけれども、18日に南郷小学校で、広島  
の原爆をテーマとした平和集会がございました。体育館に全児童を集め、「貞子と千羽鶴」という布  
芝居を先生方の朗読で紹介しながらの授業でした。それが終わった後に、校長先生から命の大切さ、  
人権の大切さについて話があり、1年生から6年生まで理解ができるような、工夫された夏休み前の  
平和授業でしたので、ここで改めて報告をさせていただきました。

【川上委員】 私は、河東中学校と河東小学校に行かせていただきました。河東中学校での報告  
ですが、まず校長先生から、現在の状況をお聞きしました。今、2年生の生徒指導に力を入れておら  
れ、先生方が、子どもたちのなかに入って、熱心に指導をしてらっしゃるという状態で、3年生は、  
受験前で落ち着くのを待っている状態、1年生は、あまり目立ったことはしていない状態というこ  
とでした。その後、授業参観をいたしました。全体的に学習規律は、良くなっていない印象を受けまし  
た。子どもたちは、学びに来ているのではなく、学校で時間を過ごしている印象で、2年生は、目に  
付く行為等も多い状態です。夏休みを前に、いろいろと指導を加えていくという校長先生のお話でし  
たので、今後も見守っていく必要があると思いました。その後、河東小学校に行きましたところ、非  
常にギャップを感じる状況で、子どもたちが元気良く、一生懸命学校に来て、学んでいる様子が見ら  
れました。特に5、6年生で、子どもたちが授業を作り上げているような工夫が随所に見られ、子ど  
もたちが、いきいきと学校に来て、授業を受けているという印象です。挨拶にもよく取り組んでいら  
っしゃって、校長先生からのお話を紹介します。ある姉妹の児童が、近所のおばあちゃんに、交差点  
で必ず立ち止まり、ちゃんと目を見て丁寧な挨拶をしている。そのおばあちゃんが、非常に感動され、  
自治会長さんに紹介したところ、自治会長さんが現場に行って取材をされ、回覧板にされたそうです。  
また、その様子を写真に撮って、学校にもお礼を言いに来られたということで、校長先生は大変喜ん  
でいらっしゃいました。学校で説明したことを、子どもたちが実践しているということが、本当に良  
かったとおっしゃっていました。また、職員室では、先生方が若い方も年配の実績のある方も、常に  
学び合う体制ができていますので、非常に良い状態で学校が運営できていますとのことでした。

【平田委員】 私は、赤間西小学校、吉武小学校、赤間小学校、城山中学校と、城山中学校区を  
回らせていただきました。赤間西小学校は、ちょうど平和集会が体育館であって、「よっちゃん  
のビー玉」の布芝居をされていました。子どもたちは、行儀良く座って、しっかり聞き入っておりま  
した。その後、クラスに帰っての平和授業でした。2、3クラスは、平和のためにどうしたらいいの  
かという投げかけをしながら、子どもたちが意見を出したり、発表したりしていたのですけれども、  
先生方がさらに写真を見せたりしながら、子どもたちに平和や戦争についてしっかり説明しているク  
ラスが多かったように思いました。校長先生と語る会では、「今日、先生と話したいから。」と早めに  
来られている保護者の方がいらっしゃいました。とてもいい環境だなと思いました。吉武小学校は、  
4、5、6年生が運動場で、安全教室をされており、暑い中なので、少し心配しました。1年生は、  
とても元気に楽しそうな授業風景で、安定している感じを抱きました。赤間小学校は、1年生、3年  
生はプールでした。1年生は、着替えが、大わらわで、校長先生も声を掛けて、一生懸命指導とい  
うか、励ましてらっしゃいました。しっかり着替えている子もいれば、裸で走る子もいて、夏を感じて  
参りました。2年生は、とても楽しそうに一生懸命図工の七夕飾りに取り組んでおりました。4、5、  
6年生は、頑張っておりましたが、暑いせいか、学習規律が少し気になりました。「この学校は、支  
援を要する子どもが多いなあ」と感じました。ふれあいティールームでは、教頭先生を中心に、10  
数人のお母さん方が集まれ、とても和やかに良い集いがされておりました。城山中学校は、落ち着  
いた授業風景でございました。2年生は、ワクワクWORKについての授業でしたが、生徒はとても

興味深そうで、一生懸命聞いておりましたし、ワクワクWORKを子どもたちが、とても楽しみにしているのだなと感じました。気になる学年もあるということで、校長先生から少しお話を伺いました。その後、私は東海第五高校に用事があって行きましたところ、ちょうど学校の日で、柴田先生がいらしたので、拝見させていただきました。掃除が行き届いていて、お昼休みでしたけれども、生徒たちの挨拶が良くて、とても穏やかで笑顔があって好印象でした。その後、すぐ授業でしたけれども、さっと教室に入って、授業も落ち着いてされておりました。とても教師と生徒の関係が良いと感じました。柴田先生が、試験問題も全部、数種類、先生たちが各教科作っていて、それを使って評価し、細かい指導がされているということをおっしゃっていました。赤星先生も、元気に走り回って、大きな声で授業をされておりました。

【中岡委員】 7月10日ですけれども、その前日が学校改善訪問で地島小学校に行ったわけですが、その際に、10日に全校話し合い活動をするということを知りましたので、連日になりましたが、地島小学校に行って参りました。地島小学校の場合は、本当に少人数ですので、そのなかで、どれだけ多くの人の中かで、自分の考えていることなどを表現できるかというようなことが、非常に大きな課題だと、学校訪問の時にも出ていましたが、その解決策として、初めてになると思うのですが、こういう取り組みを今年始められたと。非常に興味を持って、参加をさせていただきました。ただ、話し合いの中身については、どうしても子ども主体で進めようと言われて、うまくいかないということで、先生方が随分、手助けをされていたという状況がありました。ただ、後半になってくると、子どもたちが本当にしっかりと、意見の発表ができるようになっていましたので、10月の発表での子どもたちの成長した姿が、非常に楽しみだと思いました。本当に先生方が一生懸命で、本気でこの活動を、子どもたちの力を育てるための素晴らしい活動にしたいという意気込みを感じましたので、尚更、10月が楽しみだと感じたところです。

【井上委員長】 私は、日の里東小学校、東郷小学校、吉武小学校の3校を訪問いたしました。日の里東小学校では、校長先生に案内していただき、授業参観をしましたが、今年度は、講師の先生が2名、それから、新任の先生が1名で、ベテランの先生と組み合わせて、現在スムーズな学級計画が出来ているというお話でした。授業でも、大変落ち着いて楽しい雰囲気を進めておりました。音楽の授業では、日の里中学校の佐々木先生が兼務教員として、授業をされておまして、さすが実績のある先生で、良い授業を目の当たりにいたしました。子どもたちの目が、イキイキしているというのが、非常に印象的でありました。東郷小学校では、今年赴任されました、吉武校長先生からお話を聞くことができました、中央中学校区の小中一貫教育を継続発展させるために、出来る限りの努力を惜しまないという力強いお言葉を賜りました。また、東郷小学校の場合には、将来的に児童が増えるということで、当初は教室変更ではなかったらしいのですが、要望をされて教室になったということで、大変喜ばれておりました。それから、6年生の外国語の授業では、兼務教員の掛橋先生の授業で、子どもたちが活発に交流活動を行っておりました。ただ、ひとつ気になりましたのが、階段、廊下の清掃についてです。ほこりが結構かぶっていました。せっかく東郷小学校は、きれいに改修されたわけですから、もう少し気を使っていたらいいなと思いました。吉武小学校は、先程も平田委員の報告がありましたので、私からは以上です。

#### ⑦ 小中一貫教育について（資料8）

【西島指導主事】 7月8日に、八代市教育委員会の方がお見えになりました。参加された方々の感想ですが、「とにかく参考になることがたくさんありました」、「チャレンジウィークは、今まで発想

の中になく、ぜひ、八代市でも取り入れていきたい」「短期的・中期的・長期的目標が見えてきて、中央中学校の取り組みをぜひ紹介させて欲しい」など、いろいろな声をいただきました。八代市の視察は、今回が2回目で、前回は、東郷小学校を見ていただきましたので、今回は中学校を見ていただきました。昨日、10月に志免町教育委員会から、視察にきたいというご連絡が入っておりましたので、次回の教育委員会のなかで、報告させていただきたいと思います。その他議事録なし(▲48秒)

【後藤理事】 学校改善訪問が半分終わりましたので、その時に指導いただいたことも含めて、1学期の小中一貫教育の総括を8月の教育委員会でさせていただきたいと思います。

#### ⑧ 福岡教育大学との連携事業について(資料9)

【中教協コーディネーター】 各教育委員会、小中学校、福岡教育大学の連携全体像が見えるようなものごと、作成しました。年間スケジュールのなかに織り込みながら、やってきたことを前半部分にまとめています。1年間を通して、A、B、C、D、E、Fの6つのタイプで、教育大と教育委員会、あるいは、小中学校の連携が進んでいたというような表になりました。また、その窓口について、連絡先にまとめました。今年度は、それに加えて、25年度教育連携プロジェクトを4月から3つの分野で実践的に進めています。来年度、再来年度になったら、いろいろな教科、いろいろな分野に進めていきたいと考えており、これが教育大学との主な連携プランです。次のページをご覧ください。6月19日午後、玄海中学校で、出光教諭によるICT機器を使った社会科の授業が行われました。子どもたちは電子黒板やその他の電子機器にも感動しながら、大変落ち着いた授業を50分間することができました。GTの地域の方も5名参加され、「こんなに落ち着いた授業をしてくれて嬉しい」、「電子黒板を導入していることを初めて知った」、「先生方の授業体制が整っていて感動した」と、子どもたちの前で感想を述べてくれましたので、非常に良い授業実践になったと思っております。また、6月25日には、宗像市では一番実践的にICT教育が進んでいると思われる河東西小学校の縄田教諭による算数科の授業が行われました。縄田先生自身が実践家で、宗像市内の小・中学校の先生にも伝えたいという強い思いがあり、しかも、革新的な使い方をしてくださいました。主に電子黒板とご自分が作られたパワーポイントを使い、従来の黒板と電子黒板を一体化させながら、そして、子どものノートに何が残ったらいいかということも、工夫しながらの授業だったと思います。当日の授業協議会には、中学校の先生も参加されています。このような実践が少しずつ進み、ICT教育の部門が、小中一貫教育のなかに位置付けてくると良いと思います。小学校での授業が、中学校で活かされる、小学校の教師が出来ることを、中学校の教師と共有することを今後は目指していきたいと思っております。

【井上委員長】 今日提示された連携スケジュールは、一目瞭然で、いかに大学と連携し、良い状態で進んでいるかが表れています。この連携事業に対し、ますます期待が深まってきました。

【川上委員】 素晴らしい取り組みを、非常に分かりやすく伝えていただけていますので、これを全校に配布していただけたら、本当に伝わるのではないかなと思います。

【平田委員】 連携していくなかで、良いものが作られ、学校に良い影響を与え、これがいろいろな学校で広がって行って、活かされていくとまたいいなと思いました。

【中岡委員】 大学生のボランティアの窓口がどこになるのかということで、それぞれの学校が、一番困っていたところなのですが、こういう連携総合プランのなかで、このボランティアということも取り上げていただいて、窓口もしっかりと作っていただいて、本当にありがたく思っております。ただ、学生の就職支援室とか、学生支援課、これまでもこういうところが窓口ではあったのですが、

大学のなかで、ボランティアの募集が出来れば、それぞれ宗像市の小中学校としても、大変ありがたいなと感じております。

⑨ 宗像市民図書館雑誌スポンサー報告（資料10）

【図書課長】 雑誌スポンサー報告の7月分でございます。これは、前回ご報告させていただいた、6月から7月1日現在までで、申し込みが完了して、料金を入金させていただいた企業を書いております。雑誌スポンサーにつきましては、宗像市民図書館のホームページにも掲載しております。7月2日に、NHKの地方番組の福岡NOWという番組のなかで、ひとつの手法として、このような営業活動をやっている図書館があるということで紹介されました。3館の図書館が取り上げられておりましたけれども、営業をしているのは、私どもの図書館だけでした。放送後、営業活動するなかでも、「見た」とおっしゃるお客さんもあり、非常に営業活動には助かっております。

⑩ その他

・子ども料理名人育成塾の開催について

【学校管理課長】 平成25年度料理名人育成塾開催要項、平成24年度料理名人育成塾実施結果、をご覧ください。子どもたちが、料理に関心を持ち、楽しく調理を学ぶことで、望ましい食生活の基礎と、実践力が養われるようにするために開催するものでございます。本年度は、明後日になりますけれども、7月25日木曜日と翌日26日金曜日、両日共に、9時30分からメイトム宗像で開催いたします。市内の小学校4年生から6年生までの児童が対象で、本年度は、103人の応募があり、うち男子児童が28人でございます。昨年度も申し上げましたが、会場の関係で、1日36人しか参加できないということで、2日間で72人の参加予定となっております。72人につきましては、過去に参加していない児童を優先し、残りは抽選といたしております。

・「夏の課外授業 in むなかた」について

【子ども育成課長】 宗像市内外の子どもや親子に、宗像市のイベントを一体的に紹介することで、子育て世代を中心に、宗像の良さを実感してもらうことを目的に、「夏の課外授業 in むなかた2013」を夏休み期間中に実施します。市内の民間事業所や市民活動団体から、親子で楽しめたり、学んだりできる夏休みの体験活動を募った結果、25事業者に参加いただき、全42事業の多彩な体験を「課外授業」としてまとめました。このイベントガイドにつきましては、近隣市町の小学校でも配布していますので、多くの市外の方にも、この機会に宗像市に来ていただきたいと考えております。

・「世界一行きたい科学広場」について

【久保社会教育主事】 今年度も、ものづくりの楽しさや、科学や自然現象の不思議さを体験することを通して、将来の日本を担う、科学技術系人材の発掘育成を推進することを目的に、東海大学との共催で、8月10日に「世界一行きたい科学広場 in 宗像2013」を宗像ユリックスで開催いたします。当日は、福岡教育大学を始め、近隣の大学9つと、宗像高校、東海第五高校、それから、テムザックなどの企業も10社ほど参加いたします。また当日は、テレビ番組に出演され、多数の番組を監修されている、東海大学の滝川先生のサイエンスショーも開催されます。「夏の課外授業 in むなかた」の冊子の6ページにも大きく、この科学広場のことを載せております。このチラシにつきましては、宗像市の小中学校、保育所、幼稚園、コミセン等に配布し、福津市、遠賀町等にも、事務局から配布



しています。

・子どもプレーパークについて

【子ども育成課長】 子ども基本条例に基づく事業のひとつとして、子どもに本来の遊びを取り戻させて、子どもの健やかな成長、発達を支援するという目的で、メイトム宗像本館横に、子どもの遊び場プレーパークを7月13日に開設しました。オープン当日は、子ども、大人合わせて63人の参加がありました。プレーパークとは、子どもがやりたいことを、可能な限り何でもできることを目指した「冒険遊び場」のことで、プレーワーカーという大人の支援者のもと、穴掘りや泥遊び、ロープを使った遊び、基地作りなどの遊びをすることができます。この事業は、市民活動団体の「With Wind」に協働委託して実施いたしますが、遊びを通して、子どもの育つ環境を良くしていきたいという団体の強い思いと、これまでの活動のノウハウにより、自分の力で考えることができる、生きる力を持った、たくましい子どもたちの育成を進めていきたいと考えています。今年度は、この常設のプレーパークに加え、年3回程度、地域での出張プレーパーク、それから、毎月1回、旧青少年センターで、中高生の居場所づくり事業を開催いたします。

・海の道むなかた館の夏休みイベントについて

【郷土文化交流課長】 先日行われました、むなかたみんなの山笠、市制10周年記念イベントの報告と併せまして、夏休み期間に海の道むなかた館で行う事業についてお知らせします。既に、7月12日に新聞折り込みで、広報させていただいております。また、みんなの山笠につきましては、教育委員の皆さんに、ご参加いただきましてありがとうございます。20日は、猛暑でしたが、4つの山笠が集合できたというのは初めてのことで、合併の象徴的なイベントになったのではないかと考えております。また、市長、教育長に、田熊山笠の台上がりをしていただきまして、非常に盛大な盛り上がりを見せました。当日は、3,000名の方が来られ、集客についても1番多かったのではないかと考えております。夜間も星空コンサートと題し、外に特設会場を設けまして、九州管楽合奏団、ゴスペル、そして、宗像と日田の子ども達の合唱とダンスを2日間にわたって、展開することができ、それに併せていろいろとイベントも行い、非常に子どもたち等も喜んでおりました。

夏の体験学習と題し、これから進めていく事業についてご説明します。通常の体験学習にプラスしまして、トヨタ自動車九州との連携事業の「モノづくり教室」で、ホバークラフト作り、ロボット工作を行います。それから、北斗の水くみ海浜公園が、8月の始めにオープンしますのでそれを記念して、北斗の水くみ観望会親子キャンプを行います。これは、玄海少年自然の家と連携し、子どもたちがキャンプをしながら、実際に北斗の観察をする、今回が初めての企画を考えております。ほとんどすべての定員が満杯になっております。

また、西館の講義室、第2展示室、トイレ等の整備をしております。かなり以前と違う白いイメージになっています。今週の24日からは、屋外の整備に入ります。館と宗像大社との一体性と、館自体のイメージアップと兼ねて、海のイメージを屋外に持たせ、あわせて屋外ステージを設けます。12月末までの工期で、具体的に整備に入りますので、今の駐車場が立ち入り禁止になり、一定期間支障は出ますが、来年には、きちんとした形で再スタートできると思っておりますので、ご報告いたします。

・第10回日本の次世代リーダー養成塾の開塾について

【ポスター・観音講義】 今回で、第10回を迎える日本の次世代リーダー養成塾ですが、7月26日、今

週の金曜日から8月8日の木曜日まで2週間にわたり、高校生170人が参加して実施されます。全部でカリキュラムとしては、26人の講師陣による講義がありますが、本日配布資料に挙げております①から⑦の講義につきましては、市職員の研修と位置付けておりまして、参加できるのは各15人程度ですが、これと併せまして、教育委員の皆様にも、参加をご案内するものです。会場につきましては、すべてグローバルアリーナの武道館となります。それから、①の百田さんと小川知事の対談形式による講義ですけれども、こちらにつきましては、新市制10周年、それから、リーダー塾の10周年の記念イベントと位置付けております。

【井上委員長】 以上ですが、他に何かその他での報告はございますか。なければ、次回は、8月26日月曜日、9時30分から301会議室にて開催します。長時間ありがとうございました。

平成25年 8月 26日

井上裕之

中岡政剛